

■2009-2010■



岐阜中週報

THE FUTURE OF ROTARY
IS IN YOUR HANDS

ロータリーの未来はあなたの手に

R.I.会長 ジョン・ケニー

会長 内 木 一 博
 幹事 大 橋 哲 也
 発行者 ウェブ委員会
 委員長 大 島 康 之
 例会 毎週火曜日 12時30分
 会場 岐阜都ホテル
 事務局 岐阜市神田町 2-2
 電話 264-9235 番

平成 22 年 4 月 27 日(火)
 第 838 号
 第 916 回例会

年度前総会・理事役員会 クラブアッセンブリー実施記録

第 2 回 次 年 度 クラブアッセンブリー

日時：平成 22 年 4 月 20 日 13:40
 場所：岐阜都ホテル
 出席者と資料の確認：

馬場秀幸次年度幹事
 議事録作成者：加納永一朗次年度幹事
 議長：故金正司次年度会長

出席者：故金、加藤(一)、安田、勝野、
 森、秋保、安藤、臼井、内木、大橋、
 馬場、柴田、高橋、村山、中根、
 音瀬

【議題】

- 1号議題：「会長クラブ運営方針」について
 クラブスローガン「好意と友情を深める例会づくり」が発表された
 ⇒承認。
- 2号議題：委員会事業計画について
 故金正司次年度会長よりクラブ活動方針に係わる委員会に対し委員会活動方針の再検討が要請された。
- 3号議題：会員増強について
 ⇒承認。

- 4号議題：プログラムについて
 ⇒一部変更を承認。
- 5号議題：第 2 1 期理事役員会の日程及び諸会議の主な議題について
 ⇒承認。

委 員 会 報 告

職場例会のご案内

職業奉仕委員会委員長 安藤元一
 来週開催の職場例会の最終案内をさせていただきます。

開催日時：平成 22 年 4 月 27 日(火)
 集合 午前 10 時 45 分
 出発 午前 11 時 00 分
 (時間厳守)

集合場所：JR 岐阜駅
 じゅうろくプラザ前駐車場
 以上よろしくお願ひします。

ゴルフ同好会ご案内

幹事 安藤元一
 明日 21 日(水) 岐阜関 C.C 東コース
 午前 10 時 23 分スタートにて開催
 します。現在 9 名の参加予定で、一人でも欠席しますと 1 組キャンセル料が発生しますので、よろしくお願ひします。

地 区 協 議 会 報 告

(2010 年 4 月 18 日開催)

会長エレクト 故金正司



ロータリーでは 7 月より新年度となり、直前に新しい年度の役員会議が始まる。会場は高山短期大学で 1,000 名余りの参加人数であった。

会議の目的は 80 クラブの次年度役員に対して、ガバナーエレクトが新年度方針を伝え、各委員会は活動予定計

前 例 会 の 記 録

平成 22 年 4 月 20 日(火)
 [点鐘] 12 時 30 分～
 [ソング] それでこそロータリー
 [ゲスト] FC 岐阜
 ゼネラルマネージャー
 服部順一様
 [ビジター]

[出席] 会員総数 36 名
 (出席免除 1 名)
 本日出席 27 名 75.00%
 [行事] 卓話
 『スポーツと地域貢献』
 FC 岐阜ゼネラルマネージャー
 服部順一様
 担当 会計

本 日 の 予 定

第 916 回
 平成 22 年 4 月 27 日(火)
 [点鐘] 集合 11 時 00 分
 [行事] 職場例会
 於 キリンビール株式会社
 キリンビアパーク名古屋
 担当 職業奉仕委員会

次 回 予 定

第 917 回
 平成 22 年 5 月 11 日(火)
 [点鐘] 12 時 30 分
 [行事] 次年度会長方針
 担当 会長エレクト

面を各クラブの委員長に伝え、次年度の活動に備えるのである。このロータリー活動の組織は会社運営にとっても役に立っていると私は思っている。経営理念・組織作り・組織運営・役員構成・理事・委員に対してのマニュアル・例会の運営、会員とのコミュニケーション・親睦・全体会議・社会奉仕等、数えればきりのないところである。大企業の組織で働いたことのない私には、ありがたい勉強の場でもある。



分科会は11会場に分散し、それぞれの委員会メンバーで次年度方針の議論が行われた。ガバナーエレクト方針は7項目「ポリオ・例会参加・クラブ活動での長期計画を作ろう」等が発表、通達された。運営には各クラブ色々な問題があると思うが、向うところは社会奉仕、日本に於けるロータリークラブの創設者 米山梅吉パストガバナーと意思を共有する大切さを感じる。(研修リーダー伊達パストガバナーより、米山梅吉ストーリーの解説があつ

た) 次年度も自分の仕事を繁栄させ、職業奉仕で社会のお役に立つ発展的クラブ活動の大切さを感じた。

青少年育成委員会での分科会のことであるが、80クラブの参加者から閉会前に手が上がった。この会合の資料がないこと・質問時間がないこと・委員会としてプログラムの偏りにハッと気づくことになる。資料は後日CDで各クラブに送ること、質問内容はFAXで地区事務局まで送って頂く。一生懸命さで周りを見る余裕がなく、委員会の反省事項であった。

半日の行程であったが、往路 JR 高山線で9名のメンバー同志の交流が深まり有意義な一日であった。しかしながら閉会時直前の会場は参加人数が半減し、ロータリアンの資質について考えさせられた。高山市内の桜はゆっくと開花中である。以上

